



ポインセチア

税務と経営

編集発行人
税理士

三木 泰

事務所 〒597-0083
貝塚市海塚3-9-17
TEL 072(431)1644

12月 (師走) DECEMBER

日	・	13	27
月	・	14	28
火	1	15	29
水	2	16	30
木	3	17	31
金	4	18	・
土	5	19	・
日	6	20	・
月	7	21	・
火	8	22	・
水	9	23	・
木	10	24	・
金	11	25	・
土	12	26	・

12月の税務と労務

- 国 税** / 給与所得者の年末調整
今年最後の給与を支払う時
- 国 税** / 給与所得者の扶養控除等
(異動) 申告書及び保険料
控除申告書の提出
今年最後の給与を支払う前日
- 国 税** / 11月分源泉所得税の納付
12月10日
- 国 税** / 10月決算法人の確定申告
(法人税・消費税等) 1月4日
- 国 税** / 4月決算法人の中間申告
1月4日
- 国 税** / 1月、4月、7月決算法人の消
費税の中間申告(年3回の場合)
1月4日
- 地方税** / 固定資産税・都市計画税(第
3期分)の納付
市町村の条例で定める日
- 労 務** / 健康保険・厚生年金保険被
保険者賞与支払届
支払後5日以内

ワンポイント 医療費控除の添付書類

医療費控除の添付書類について、令和2年分確定申告から医療費等の領収書の提示・提出は終了し、医療費控除の明細書又は医療保険者等の医療費通知書のみとなります。なお、医療費控除の明細書の記載内容を確認するため、確定申告期限等から5年間は、税務署から領収書の提示等を求められる場合があります。

カーボンプライシング

地球温暖化

二酸化炭素やメタンといった気体は、赤外線を吸収し、地球に布団をかぶせたような状態にして熱をこもらせる働きがあります。このような気体を、温室効果ガスといいます。産業革命以降、世界の平均気温は約1℃上昇しており、これは温室効果ガスの濃度が増えたためだといわれています。今後、温室効果ガスの濃度がさらに増えると、2100年には世界の平均気温が0.3℃～4.8℃も上昇すると予測されています。

地球温暖化に対する対策を進めるためには、温室効果ガスの排出量を削減することが必要になります。温室効果ガスのうち最も排出量が多いのは二酸化炭素です。従って、二酸化炭素の排出量を削減できる規制策が、地球温暖化対策に有効といえます。

温室効果ガス排出の現状

2015年に採択されたパリ協定を踏まえて日本では、温室効果ガスの排出量を2013年度比で、2030年度には26%削減を、2050年には80%削減を目標として掲げました。

温室効果ガスの排出量を見ると、工場などの産業部門や運輸部門では減少傾向にあり、10年間で約10%減少しています。一方で商

業・サービスなどの部門や家庭部門については、増加傾向にあります。エネルギー転換部門は、横ばいで推移していますが、石炭火力発電所の新設・増設計画が多くあり、これらが全て稼働すると、2030年度の削減目標を大幅に超過する可能性があります。昨年12月に開催されたCOP25では、国連のグテーレス事務総長から、「世界のいくつかの地域では、石炭火力発電所が今でも多く計画・建設されている」と指摘されました。これに対し当時の小泉環境大臣は、「石炭火力発電に関する新たな政策をこの場で共有することは残念ながらできない」と発言し、日本の姿勢に対して批判が集まりました。

カーボンプライシングとは

炭素の排出量に価格付けを行うことを、カーボンプライシングといいます。排出される炭素に対して、トン当たりの価格が付されるもので、「炭素税」や「排出量取引制度」などがあります。

今までは無料で排出していた温室効果ガスの費用が見える化することから、明示的カーボンプライシングということもあります。一方、石炭石油税や軽油引取税などのエネルギー課税や、規制や基準を遵守するためにかかるコストなどを

暗示的炭素価格といいます。

明示的カーボンプライシングを行うことで、温室効果ガスを排出することによるコストが明確になるので、排出削減対策にかかる費用とカーボンプライシングによる負担を比較しながら、排出量を削減することが可能になります。

各国の取り組み

2017年現在、日本を含む42の国と25の地方政府が、何らかの明示的カーボンプライシング施策を導入・検討しています。

フィンランドでは、1990年に世界初の炭素税を導入しました。2011年には暖房用燃料と輸送用燃料の税率を分けるなど、エネルギー税制改革を実施し、現在では導入当時の約50倍の税率になっています。炭素税が導入された1990年と比べて、2014年の二酸化炭素排出量は16%減少しています。

日本では、2012年10月から地球温暖化対策のための課税の特例として、全化石燃料に対して289円/tco₂の課税を行いました。従来の石油石炭税と合わせると、原油・石油製品では約1,000円課税されています。しかし諸外国に比べると、まだまだ低い水準にあります。

不織布とは

一般的に布状のものは、織ったり編んだりして作られます。不織布は、織ったり編んだりしないで布状にしたものを指します。日本の繊維生産量は減少傾向にあります。不織布の生産量は増加傾向にあります。

1920年代にドイツのフェルト業者が、毛くずなどを接着剤で固めてフェルトの代用品を作ったのが、最初の不織布です。日本では、1954年にアメリカから乾式不織布製造装置が導入されてから、不織布の製造が始まりました。

不織布は、繊維を集積して何らかの方法で絡ませたり接着したりして作られた、繊維状のシートです。不織布の製法は、大きく短繊維不織布と長繊維不織布の2つに分けられます。短繊維不織布はさらに、接着剤を使用するケミカルボンド不織布、熱融着繊維などを使うサーマルボンド不織布、特殊針で繊維を交絡させるニードルパンチ不織布、高圧水流で繊維を絡ませるспанレース不織布の4つに分けられます。長繊維不織布は、ペレットと呼ばれる米粒状のプラスチックを繊維化させながら熱ロールで融着させるспанボンド不織布が主流です。

不織布の用途

不織布は多孔質構造をしているので、通気性や保湿性、ろ過性などの特性があります。また、繊維をそのままシート状にするので、



織物や編物に比べて低コストで製造をすることができます。このような特長から、様々な用途に使用されています。

例えばспанボンド不織布は、紙おむつなどに使われています。当初は尿漏れギャザーの部分に使われていましたが、今では紙おむつの外側部分や肌に直接あたる部分にも使われています。

また、спанレース不織布は、お尻拭きや化粧雑貨のフェースマスクなどに使われています。спанレース不織布は、短繊維を高圧水流で絡ませるので、柔軟でドレープ性に優れるという特性があり、これらの製品に使用されています。

他にも、ティーバッグやマスク、フィルターやハウストラップなどの建築用資材などに使われています。

環境にやさしい不織布

愛知県にあるフタムラ化学株式会社は、接着剤を使用しないセルロース100%の不織布を開発しました。

日本ではゴミの処理方法は焼却がほとんどですが、海外では焼却炉が少なく埋め立てが主流です。不織布の原材料はプラスチックなどの石油製品なので、不織布を使用した製品がゴミとして処分されても分解されず、残ってしまいます。そこでフタムラ化学は、埋め立てされても分解されて土に戻る植物由来の原材料としてセルロースに着目したそうです。開発された不織布は、日本有機資源協会が認定するバイオマス商品に認定され、バイオマスマークを取得しました。

また不織布の製造には、苛性ソーダや硫化物など様々な薬品が使用されます。このことも環境負荷が大きいということで、フタムラ化学は一つの薬品を使って不織布を製造し、さらに製造後の排水を回収して精製し、その薬品を何度も使用するという、今までにない画期的な技術を開発しました。

フタムラ化学は、セルロース100%の不織布を開発するのに12年もかかったそうですが、従来の不織布と遜色のない不織布ができました。2021年度に本格製造の予定で、すでに化粧品メーカーや製薬会社などの引き合いがあるそうです。

フタムラ化学では、他にも様々な環境負荷低減に関する技術を開発しており、このことが評価され、今年6月に「グローバルニッチトップ企業100選」に選定されました。

再生医療

身体の組織や臓器に大きな損傷や機能不全が生じた場合、医薬品による治療では根治はできません。一般的には臓器や組織を移植するといった外科的な治療手段が用いられますが、他人から提供された臓器に対する拒絶反応や、臓器提供者が不足しているという問題があります。これらの問題を解決する技術として、1980年代から「再生医療」の技術が注目されるようになりました。

再生医療とは、組織や臓器に障害を持った人または組織提供者から幹細胞を採取し、その幹細胞を培養・分化させて目的とする臓器や組織に加工し、加工した臓器や組織をその人に移植する治療法です。しかし再生医療は、特殊な培養施設が必要であることや、製造・保管・流通のコストが高いといった課題があります。また、体外で培養することによって細胞が変質するリス

クや、幹細胞の採取から培養まで時間がかかり早期に治療できないといったリスクもあり、一般医療として普及していません。

株式会社ステムリムでは、生きた細胞や組織を用いなくて、医薬品の投与だけで再生医療と同じくらいの治療効果を得られる「再生誘導医薬」の開発を目指しています。これは、生体に本来から備わっている、ケガや病気で損傷した組織を自ら修復し再生する自己再生能力を効率化するものです。具体的には、再生誘導医薬を投与することで、骨髄から血中に幹細胞を放出することを促し、損傷した組織や臓器に幹細胞を集積させることで、組織や臓器の再生を誘導するものです。

再生誘導医薬は、大規模な組織損傷に対応できることや、幅広く適応症をカバーできる可能性があること、投与する本人の幹細胞の放出を促すものなので免疫拒絶反応がないことなど、様々な利点があると考えられています。

ESG投資

環境・社会・企業統治（ガバナンス）といった要素を重視して投資を行うことを、ESG投資といいます。ESG投資は、公的年金基金など、大きな資産を長期で運用する機関投資家に注目されています。

ESG投資という言葉が使われるようになったきっかけは、2006年に当時の国連事務総長のアナン氏が機関投資家に対して、責任投資原則（PRI）を提唱したことです。

その後、2008年のリーマン・ショックで短期的な利益を目指す投資スタイルへの批判が集まり、多くの投資機関がPRIに署名しました。

世界最大規模の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人も2015年にPRIに署名をしました。そして2017年にESG投資を開始しました。

今後は、投資額を3兆円まで増やす予定です。

漢点字

点字は、タテ三点×ヨコ二点の六点で文字を表しています。左側の上から一の点・二の点・三の点、右側の上から四の点・五の点・六の点と呼び、一、二、四の点で母音を、三、五、六の点で子音を表しています。

日本の点字は一八九〇年に制定されましたが、カナ点字だけで漢字の点字はありませんでした。一九四九年に大阪府立盲学校に就職した川上泰一氏は、漢字の点字（漢点字）の開発に着手しました。従来の六点では、六三種類の組み合わせしかできないので、漢字を表すことができません。そこで川上氏は、もう二点増やした八点法を採用し、八点で漢字の部首を表すことで、漢字と点字を対応させることができました。